

たかねざわ

社協だより

2021
10月号
Vol.17



困った時に相談できる人がいる

自分たちの手で地域づくりができる

孤立してしまう人がいない

そんな地域共生社会を目指します。

地域支えあいセンター

10月1日 NEW OPEN

CONTENTS

- 高根沢町地域支えあいセンター開設
- 令和2年度事業報告・決算
- 赤い羽根共同募金
- 地域助成事業申請受付中
- フードバンクたかねざわ
- 会費・募金協力をお願い
- 各種お知らせ



社協だよりは赤い羽根共同募金配分金により発行しています

NEW OPEN!! 10月1日



高根沢町

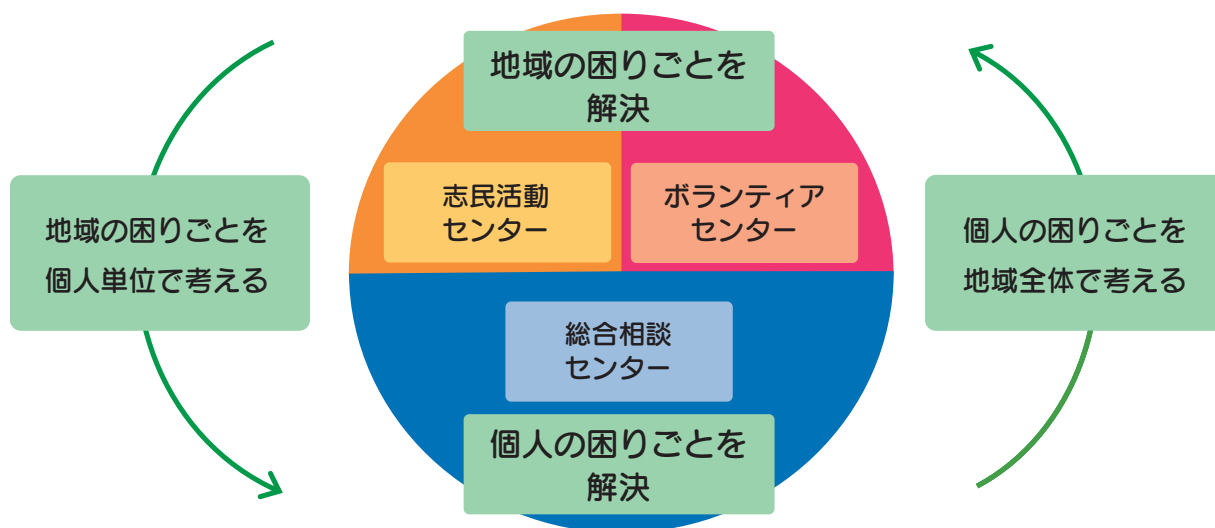
地域支えあいセンター

“ともに生きま～るくつなげる相談所”

高根沢町地域支えあいセンターは、わたしたちの町が、「困った時に相談できる人がいる」「自分たちの手で地域づくりができる」「孤立してしまう人がいない」そんな地域共生社会になるように作られた相談機関です。

いま地域には、そこに暮らすさまざまな人や物、場所がつながることで生まれる、新しい「支えあいの力」が必要なのです。

当センターは、さまざまな人や団体と協力しながら、この町に暮らす皆さまが、自分らしさを大切にしながら過ごせるようにお手伝いいたします。



地域支えあいセンターは、3つのセンターの集合体です。一人ひとりの困りごとや、地域全体の困りごとを解決するために、いろいろな分野の専門機関と連携しています。

◆利用案内◆

【時 間】8時30分～17時15分

【休館日】土日祝、年末年始

【場 所】高根沢町石末1825 福祉センター
(社会福祉協議会)

【電 話】028-612-3440

【F A X】028-612-3441

【MAIL】sasaesai@takashakyo.jp



ボランティア

ボランティアをしたい人と、してほしい人をつなげる役割をします。

ボランティア相談

ボランティアを始めたい人や、活動者からの相談を受け付けています。

ボランティア講習

活動に役立つ知識や技術を学ぶための講習会を開催しています。

ボランティアマッチング

ボランティアをしたい人とボランティアをしてほしい人のマッチングを行っています。

情報発信

志民活動をしている人や、これから始めてみたいと思っている人へ、情報発信をしています。

活動者紹介

志民活動にはいろいろな形があります。活動者と活動内容を紹介します。

メールボックス

活動者同士の情報交換に便利なメールボックスを貸し出しています。

志民活動

住民がつくるサークル活動や、自治会、子ども会、PTA活動、NPOなど、地域の課題を解決する活動を応援します。

総合相談

住民の皆さんが困りごとの相談先に迷ったとき、最初の相談窓口になります。

ネットワーク会議

高齢者、障がい者、子ども、若者、生活困窮者支援など、各分野の専門家と連携した支援を行います。

ワンストップ相談

困りごとをお聞かせください。困りごとの交通整理をして、解決への糸口を探します。

出張相談会

心配ごと相談や法律相談の他、必要な方には社協職員がご自宅へ伺ってご相談をお受けします。

相談無料 弁護士による法律相談

町民を対象とした相談会です。弁護士による専門的で適切な助言指導を行います。

- ◆ 日にち ①12月10日(火)
②3月11日(金)
- ◆ 時間 9時30分～12時
- ◆ 会場 福祉センター
- ◆ 定員 5人(1人30分間程度/定員になり次第終了)
- ◆ 申込み 開催日の1カ月前から電話予約にてお申込みください。
- ◆ その他 新型コロナウイルス感染拡大の影響により予定を変更する場合があります。
- ◆ 申込み・問合せ先 社会福祉協議会 ☎612-3440

相談無料 心配ごと相談 (10月～3月)

生活上のいろいろな悩みや、相談ごとに対して相談員(民生委員、人権擁護員、行政相談員)が面談により相談をお受けします。

10月	5日(火)	1月	6日(木)
	21日(木)		20日(木)
11月	4日(木)	2月	3日(木)
	18日(木)		17日(木)
12月	7日(火)	3月	3日(木)
	22日(水)		16日(水)

- ◆ 時間 9時30分～12時
- ◆ 会場 図書館中央館2F会議室
- ◆ 申込み 予約不要(直接会場までお越しください)
- ◆ その他 新型コロナウイルス感染拡大の影響により予定を変更する場合があります。
- ◆ 申込み・問合せ先 社会福祉協議会 ☎612-3440

一人で悩まず、解決に向けて、一步踏み出してみませんか

令和2年度 社会福祉法人高根沢町社会福祉協議会

社会福祉法人高根沢町社会福祉協議会の令和2年度事業報告並びに収支決算が6月8日の理事会・6月24日の評議員会において承認されました。

事業報告

〔事業概要〕

本会は、「地域福祉の推進」を図る団体として、地域住民やボランティア、福祉事業者等の関係者、行政機関、その他多様な機関との連携を図りながら、課題解決に向けた『人づくり、場づくり、仕組みづくり』に取り組んでいます。令和2年度は、コロナ禍において接触を伴う活動の縮小や中止を余儀なくされましたが、特例貸付事業やフードバンク事業など生活に困窮する方に向けての必要な支援を拡充し、また新たなコロナ禍に対応した事業開発に取り組んでまいりました。

地域福祉事業

- ①地域福祉計画・地域福祉活動計画推進体制の整備 **【愛の基金事業】**
- ②地区座談会の開催
- △③赤い羽根共同募金地域助成事業 **【共同募金配分事業】**
- △④生活支援体制整備事業
 - ・中学校区ごとに協議体を設置し、高齢者を支える地域づくりについて協議検討

生活支援事業

- ①日常生活自立支援事業(あすてらす)
 - ・判断能力の不十分な方への金銭管理代行、書類等の預かりを実施。18名利用
- ◎②生活福祉資金貸付事業・新型コロナ特例貸付事業
 - ・特例貸付385件(1億5280万円)、特例以外の貸付4件(237万円)
- ③福祉金庫貸付事業
 - ・貸付件数4件(11万円)
- ④行旅人旅費貸与事業
- ◎⑤フードバンクたかねざわの運営 **【共同募金配分事業】**
 - ・寄付件数144件(2,520kg)、支援件数116件(1,880kg)
- △⑥心配ごと相談所の開設 **【愛の基金事業】**
 - ・10回開設、相談件数7件
- ⑦無料法律相談事業
 - ・4回開設、相談件数19件
- ⑧介護・介助用具貸与事業
 - ・介護ベッド・車椅子などの貸出

ボランティア、住民活動の育成・強化活動

- ①ボランティア保険助成事業
 - ・団体登録9件、登録者数308名
- △②ボランティアセンターの運営
 - ・ボランティア活動者の登録、各種講座開催(中止)
- ③学生ボランティア体験事業(サマーボランティア)
- ④災害ボランティア養成講座

高齢者福祉事業

- ①ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯への訪問と生活支援
 - ・登録者数(ひとり暮らし高齢者316名、高齢者世帯99世帯)
- ②安心見守り牛乳事業 **【愛の基金事業】**
 - ・牛乳宅配による安否確認160名
- △③一般高齢者介護予防事業「元気はつらつ運動教室」の開催
 - ・福祉センター、図書館、タウンセンターにて計64回、延べ574名参加
- ④地域の居場所(ふれあいいきいきサロン)設置
 - ・15地区で設置 **【愛の基金事業】**
- ⑤高齢者見守り配食サービス
 - ・ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯への昼食配達を実施 利用者70名

障がい者福祉事業

- △①視覚障がい者等への広報朗読テープ配布事業 **【共同募金配分事業】**
 - ・「広報たかねざわ」、「社協だより」の読み替えテープを作成し配布
- △②定期手話講習会、講習生研修の開催 **【共同募金配分事業】**
 - ・18回開催、参加者延べ180名
- △③障がい児と支援ボランティアとの交流事業 **【共同募金配分事業】**

福祉教育(青少年福祉)事業

- △①子どもと高齢者の交流事業 **【共同募金配分事業】**
 - ・町内保育園にて地域の高齢者との交流会を実施
- ②児童生徒等に対する福祉体験講師派遣
 - ・阿小、東小で福祉学習プログラムの提案および講師の派遣

☆新規事業 ◎拡充事業 △縮小事業 ●中止事業

事業報告・決算報告

災害時対策事業

- ①避難行動要支援者台帳の作成及び管理
・登録者491名
- ②福祉避難所支援物品の整備【共同募金配分事業】
- ③町災害対応訓練への参画

その他の活動

- ①不要入れ歯リサイクル
- ②善意銀行の運営
・手作りマスク5件(およそ1,500枚)、生理用品、車いす3台の受贈
- ③各種委員会等への参画

福祉センターの指定管理運営

- △①各種団体への会議室等利用
- ☆②福祉総合相談窓口の運営と地域支えあいセンター設置準備
- △③高齢者の福祉センターを利用したサークル活動の促進
・将棋、囲碁、カラオケ、民舞、手芸など的高齢者サークル活動を支援

募金活動

- ①赤い羽根共同募金 2,869,405円
- ②日本赤十字会費 2,335,000円
- ③愛の基金 1,520,571円
- ④社会福祉協議会費 2,322,600円
- ⑤各種義援金、救援金の募集

情報発信

- ①広報誌「社協だより」の発行【共同募金配分事業】
- ②町内各種イベントでの啓発
- ③ホームページでの啓発

新型コロナウイルス対策事業

- ☆①職員に対する感染対策の徹底
- ②新型コロナ特例貸付事業
- ③元気はつらつ運動教室だより「紫藤」の発行
- ④学校給食食材を福祉施設へ提供
- ⑤手作りマスクの提供
- ⑥新型コロナウイルス対策用品の貸出
- ⑦フードバンクによる食糧支援の充実
- ⑧感染予防の手洗い推進として「約束のハンカチ」事業を実施【共同募金配分事業】

日本赤十字社事業

- ①火災見舞い品(布団、毛布、救急セット)の給付
- ②赤十字奉仕団活動の支援

決算報告

単位：円

資金収支計算書			
収入の部		支出の部	
会費収入	2,322,600	人件費支出	48,814,152
寄附金収入	1,514,971	事業費支出	8,076,404
補助金収入	17,151,733	事務費支出	4,532,124
受託金収入	29,077,383	貸付事業支出	120,000
貸付事業収入	81,000	共同募金配分金事業費	1,776,767
事業収入	162,000	助成金支出	420,000
受取利息配当金	851,381	負担金支出	92,200
その他の収入	4,256,410	その他の活動支出	1,131,120
その他の活動収入	9,334,640		
前期末支払資金残高	10,161,645		
計	74,913,763	計	64,962,767
		差引残高(次年度繰越)	9,950,996

貸借対照表			
資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	12,359,443	流動負債	2,408,447
預貯金	12,301,443	事業未払金	2,261,962
未収金	58,000	職員預り金	146,485
固定資産	148,111,170	固定負債	19,398,220
基本財産	1,000,000	退職給付引当金	19,398,220
その他の固定資産	147,111,170	負債の部合計	21,806,667
車両運搬具	235,952	純資産の部	
器具及び備品	60,219	基本金	1,000,000
投資有価証券	100,000,000	基金	126,178,209
貸付事業等貸付金	283,000	国庫補助金等特別積立金	165,000
退職手当積立基金預け金	14,017,950	財政調整基金積立金	6,335,840
愛の基金積立資産	26,178,209	次期繰越活動増減差額	4,984,897
財政調整基金積立資産	6,335,840	純資産の部合計	138,663,946
資産の部合計	160,470,613	負債及び純資産の部合計	160,470,613

事業別収支決算				
事業名	収入	支出	差引	
1 法人運営	29,924,047	20,975,944	8,948,103	
2 高齢者ネットワーク事業	3,087,524	3,136,359	△ 48,835	
3 地域の居場所活性化事業	486,017	486,017	0	
4 総合相談窓口事業	373,317	426,436	△ 53,119	
5 生活福祉資金事業	1,865,952	1,866,764	△ 812	
6 地域福祉活動計画策定事業	71,400	71,400	0	
共同募金配分事業	1,775,380	1,776,767	△ 1,387	
7 地域福祉活動費	1,248,380	1,272,515	△ 24,135	
8 障害者福祉活動費	435,000	434,752	248	
9 児童・青少年福祉活動費	87,000	64,500	22,500	
10 災害援助費	5,000	5,000	0	
11 一般介護予防事業	18,280,325	18,283,276	△ 2,951	
12 心配ごと相談事業	103,745	103,745	0	
13 災害時要援護者調査台帳整備事業	0	0	0	
14 福祉センター指定管理事業	5,151,534	4,064,486	1,087,048	
15 生活支援体制整備事業	12,131,703	12,168,070	△ 36,367	
16 法律相談事業	199,325	200,150	△ 825	
17 地域力強化推進事業	3,551,598	3,570,541	△ 18,943	
18 配食サービス事業	1,354,885	1,356,614	△ 1,729	
19 福祉金庫貸付事業	200,813	120,000	80,813	
小計	78,557,565	68,606,569	9,950,996	
内部取引消去額	△ 3,643,802	△ 3,643,802	0	
合計	74,913,763	64,962,767	9,950,996	



赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。

「つながりをたやさない社会づくり」のために…

10月1日から「赤い羽根共同募金運動」がスタートします。

各自治会等を通じた世帯募金や法人・事業所募金、商店等での募金箱設置などで募金運動を展開しますので、皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



あなたと私は、赤い羽根でつながっている。

令和2年度高根沢町で集まった募金
2,869,405円

高根沢町の福祉活動に活用 (令和3年度配分事業)

合計 1,543,405円 (54%)

【地域福祉活動】

・地域助成事業	375,000円
・フードバンク事業	62,000円
・広報朗読テープ配布事業	10,000円
・災害備品整備事業	60,405円
・心配ごと相談事業	100,000円
・約束のハンカチ配布事業	227,500円
・広報誌「社協だより」の発行	308,000円

【障害者福祉活動】

・障がい児交流事業	150,000円
・手話講習会事業	80,000円

【児童・青少年福祉活動】

・高齢者と保育園児の交流事業	170,000円
----------------	----------

県内の福祉施設や県域で活動している団体で活用

合計 1,326,000円 (46%)

あなたの募金は、あなたの町へ

集まった募金の約54%は募金をいただいた高根沢町で使われています！残りの46%は、栃木県内の広域的な課題を解決するための活動に使われています。

昨年お寄せいただいた募金は、“今”まさに高根沢町の地域福祉推進のための事業に活用されています！

赤い羽根共同募金 地域助成事業申請受付中

赤い羽根共同募金会では、高根沢町の地域をより良くする取り組みを応援する助成事業を行っています。コロナ禍での活動再開や継続に向けた取り組みなどを応援します。

- ◆対象団体 自治会や公民館、子ども会育成会などの地域の方により組織された団体
- ◆助成金額 1団体につき1事業（上限50,000円）
- ◆助成金総額 375,000円
- ◆申込期間 令和3年6月1日(火)～令和3年12月24日(金)
- ◆申込方法 所定の申請書及び必要書類(団体会則や通帳写し)を本会までご提出ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、極力郵送でのお申込みにご協力ください。

※申請書類一式は本会ホームページからダウンロードできます。

※予算の範囲内で助成を行いますので、助成交付決定額が当該年度の予算に達し次第終了となります。

売り手よし・買い手よし・社会よし 誰もが笑顔になる新しい寄付のカタチ 「募金百貨店プロジェクト」に参加しませんか？

募金百貨店プロジェクトとは…

“寄付つき商品・企画”を販売し、売上の一部を赤い羽根共同募金に寄付することにより、地域社会に貢献する企業・団体等を募集するプロジェクトです。

購入者の負担はなく、日常の消費活動が地域支援につながり、さらに、企業のイメージアップや販売促進、社会貢献などに期待できる取り組みです。プロジェクトへの参加方法や詳細については本会までお問合せください。

共同募金会高根沢町支会(社会福祉協議会) ☎675-4777



赤い羽根協力店 募集中!!

お店のレジや受付窓口での募金箱設置やポスター・チラシの掲示など、赤い羽根共同募金運動に協力していただけるお店や事業所を募集しています。

この機会に募金箱を設置してみませんか？(募金箱は無償貸出しています。お気軽にお問合せください)



フードバンクとは

一般家庭や企業などから、賞味期限や消費期限が残っている食料品をお預かりし、様々な理由で食べ物に困っている方にお届けする活動です。

今、日本では新型コロナウイルス感染拡大などの影響により、満足に食料品や日用品を手に入れない方が増えていますが、その一方で、本来食べられるのに捨てられている食べ物が年間643万トン



あるとされています。これを「食品ロス」と言い、深刻な問題となっています。**フードバンクの活動は食品ロスを減らしつつ、食べ物が必要な方へお届けする活動**として今社会に必要な活動として注目されています。

ご寄付いただきたい食品

フードバンクの活動にご協力をお願いします!!

- お米 ●インスタント・レトルト食品 ●缶詰・瓶詰 ●調味料・油
- のり、ふりかけ、お茶漬 ●乾麺（パスタ、うどん、そば、そうめん等）
- 生活必需品（シャンプーやせっけん、洗剤など） ●飲料、菓子

※常温保存可能で、賞味・消費期限の表示があり、期限まで1か月以上あるもの
※未開封のもので、包装や外装、食品に破損がないもの
※生鮮食材、冷凍・冷蔵食品、酒類はお預かりできません。

募集 フードバンク(食品募集)

フードドライブを実施します!

- 日時 10月13日(水)
9:30~16:00
- 場所 高根沢町役場
前庭駐車場

※当日は栃木県赤十字血液センターの「献血」も同時開催しています。

フードボックス(詰合せセット)の配付

1人1週間分の詰め合せセットを社会福祉協議会と役場健康福祉課に常備し、相談援助を行いながら必要な方へ無償で配付しています。



フードボックスの中には、お米や副食など約10kg相当の食料品が入っています。

フードポストの設置

町内のお店や事業所の協力をいただき、気軽に寄付できるためのフードポストを設置しています。

【設置場所】(順不同・敬称略) 2021/9/1
福祉センター・エコハウスたかねざわ・図書館3館・高根沢町役場・グループたすけあいエブロン・山崎新聞店・えがおの郷・ちよっ蔵食堂・肴処おかもと



フードポスト設置協力事業所募集中!!
QRコードで確認できます。



令和2年度実績

◎寄付 件数: 144件 2,520kg

内訳: 米 999kg、食料品 6,399点

◎支援 件数: 116世帯(239人) 1,881kg

内訳: 米 1,023kg、食料品 4,961点

<寄付・お問合せ先> フードバンクたかねざわ(高根沢町社会福祉協議会) ☎ 675-4777

🚫 本事業の財源は赤い羽根共同募金配分金とフードバンク等応援助成金を活用しています。

災害義援金へのご寄付のお願い

【受付中の国内災害義援金】

- 令和3年台風第9号等大雨災害義援金(2021年12月28日まで)
- 令和3年7月大雨災害義援金(2021年12月28日まで)
- 令和2年7月豪雨災害義援金(2022年3月31日まで)
- 令和3年8月大雨災害義援金(2022年3月31日まで)
- 平成30年7月豪雨災害義援金(2022年6月30日まで)

※左記受付期間は延長する場合があります。
※義援金等は、寄付金の全額が手数料等を差し引くことなく被災状況に応じて按分の上、被災地それぞれの行政、共同募金会、日本赤十字社支部等で構成される災害義援金の募集・配分委員会を通じ、被災された方々に配分されます。



募集 見守り「配食サービス」

65歳以上の高齢者だけの世帯を対象に「配食サービス」を行っています。栄養バランスや食べ易さを考えたお弁当（昼食）を、配達事業者が声かけを行いながら宅配します。

◆対象者 65歳以上の高齢者だけの世帯で、次の①又は②に該当する方

- ①要介護・要支援認定を受けている方
- ②低栄養状態になる恐れのある方
(地域包括支援センターによる聞き取りチェックが必要となります)

◆内容 ◎一食300円
◎平日週3日まで



◆配達事業者
・いぶき配食サービスぐりーん
・宅配 COOK123

◆問合せ先
配食サービス専用電話（社会福祉協議会内）
☎675-5566

はつらつ教室のお知らせ

明るく楽しく、いきいきと毎日を送るためには、頭と体の健康が第一ですが、コロナ禍で運動不足になっていませんか？

男女問わず、お一人でも、ご夫婦でも参加できる運動を中心とした教室です。気になる方は是非お問い合わせください。

【参加可能なコース】

- ・福祉センター
火曜日コース……2、4火曜日
木曜日コース……毎月第1、3木曜日
- ・タウンセンター……第1水曜日
- ・上高ふれあいセンター……毎月第3水曜日

残りわずか

対象者：60歳以上
時間：午前10時から11時45分
持ち物：タオル、飲み物、動きやすい服装

会費・募金にご協力をお願いします。

社会福祉協議会では、各自治会等を通じて各種会費募金のご協力をお願いしています。

お寄せいただいた会費・募金は、地域福祉の推進のための貴重な財源として、町内の福祉活動や、台風や地震などの災害に備える日本赤十字の活動、地域課題解決の取り組みをしている団体への活動資金として有効に活用しています。

会費募金の詳細は、自治会等閲覧チラシやHPにてご確認ください

<会費・募金>

- ①社協会費…1世帯500円
- ②日赤会費…1世帯500円
- ③共同募金…1世帯600円
- ④愛の基金…1世帯200円

※1世帯あたりの金額は目安額です。また、この会費募金は任意であり強制ではありませんので、趣旨にご理解をいただいた上でご協力ください。



長期化する新型コロナウイルス感染拡大の影響により、表出した課題を解決するための活動には、皆様からのご支援とご協力が重要な支えとなります。

アフターコロナを見据えた“つながりたやさない社会づくり”を応援する会費募金にご協力をお願いします。

編集
発行

健康で、明るく、安心して暮らす

「ふっくらすしあわせ」のまちづくり

社会福祉法人 高根沢町社会福祉協議会

開館：8時30分～17時15分
休館：土日祝祭日・年末年始

〒329-1225 高根沢町石末1825 福祉センター
Mail: takanezawa@takashakyo.jp
TEL: 028-675-4777 FAX: 028-675-6953



たかねざわ社協

検索